

新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
このたび、下記の検査項目を新たに受託開始いたしますので、
ご利用いただきたくご案内いたします。

当社におきましては、皆様のご要望に幅広くお応えすべく研鑽
を重ねてまいりますので、今後とも引き続きお引き立てのほど、
よろしくお願い申し上げます。

敬 白

記

■ 実施日 平成 26 年 7 月 1 日（火）ご依頼分より

■ 新規項目内容一覧

項目コード (統一コード)	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査 方法	基準値(単位) (治療濃度範囲)	採血 時刻	備考 (製品名、 薬剤名等)
6501 7 (3M816)	ミコフェノール酸	血漿 0.5	C ↓ X	冷蔵 (7日)	2~5	特	EIA	($\mu\text{g}/\text{mL}$)		セルセプト &ヨ

特：特定薬剤治療管理料

● ミコフェノール酸

免疫抑制剤血中濃度測定「ミコフェノール酸」の受託を開始いたします。

ミコフェノール酸は、免疫抑制剤ミコフェノール酸モフェチルが生体内で加水分解されることによって生じる活性代謝物です。

ミコフェノール酸は、de novo系のDNA合成経路を選択的に阻害することでリンパ球の増殖を抑え、臓器（腎臓、心臓、脾臓、肺、肝臓）移植後の拒絶反応を抑制します。その後、グルクロン酸抱合体として主に尿中に排泄されます。

ミコフェノール酸モフェチルは、作用機序や副作用の異なる薬剤と組み合わせて用いられることが一般的ですが、その相互作用により腸管循環が阻害され、ミコフェノール酸の血中濃度が低下する場合があります。移植後の急性拒絶反応を予防するためにAUC（血中濃度-時間曲線下面積）などの体内動態パラメーターを管理することが重要と考えられます。

▼疾患との関連

- 臓器移植

▼関連する主な検査項目

- シクロスポリン
- タクロリムス
- エベロリムス

▼検査要項

検査項目名	ミコフェノール酸
項目コード No.	6501 7
検体量	血漿 0.5 mL
容 器	C (EDTA-2Na 入り) →X
保 存 方 法	冷蔵保存してください。
保存安定性	冷蔵保存で7日間
所 要 日 数	2~5 日
検 査 方 法	EIA
基準値 (単位)	($\mu\text{g/mL}$)
診療報酬	特定薬剤治療管理料 (B001 の 2) ★
備 考 (製品名、薬剤名等)	セルセプト &ヨ

★：特定薬剤治療管理料を算定できる免疫抑制剤とは、シクロスポリン、タクロリムス水和物、エベロリムス及びミコフェノール酸モフェチルをいう。

●参考文献

細坪 秀夫, 他：今日の移植 14 (4)：485~491, 2001. (検査方法参考文献)
打田 和治：日本臨床 63 (11)：2022~2029, 2005.